

コラム 寒地土木研究所とアメリカ地質調査所地形学土砂水理研究所との協定締結および  
インドネシア公共事業省道路工学研究所との協定締結

寒地土木研究所（CERI）では、26年度に2つの海外機関との研究協力協定を締結し、それぞれの研究分野において、①技術的な情報、資料、刊行物などの交換、②講師及び研究者の相互訪問、③共同ワークショップ、セミナーの開催について連携した取組みを行い、締結機関との研究活動を促進していくこととしています。

平成26年5月18日に、アメリカ・コロラド州ボルダー市にあるアメリカ地質調査所（USGS）地形学土砂水理研究所（GSTL）と河川工学および河川環境工学分野の研究交流および協力の促進を目的とした協定を締結しました。具体的な協力活動の分野としては、以下のとおりです。

- ①河川土砂に関する研究
- ②河床地形に関する研究
- ③河川流・土砂輸送・地形変化の数値シミュレーションに関する研究、
- ④洪水氾濫の数値シミュレーションに関する研究
- ⑤河川地形・2次元流速・水深のリモートセンシング技術に関する研究
- ⑥河川予測に関するソフトウェアの研究開発



写真-1 USGS-GSTL との協定締結

両機関はともに洪水時の河床波に関する実験、観測、モデル開発などを行っており、双方のデータを共有することで、より多角的な分析が可能となり USGS が提供する衛星データやデータ処理技術を用いて、CERI が汎用性の高い水理計算モデルを開発できると考えております。今後は、ワークショップなどを通じて具体的な取組みを進めていく予定です。

また、平成26年10月15日には、インドネシア・バンドゥン市にあるインドネシア公共事業省道路工学研究所（IRE）と泥炭地盤の道路建設技術分野における研究交流および協力の促進を目的とした協定を締結しました。

本協定は、寒地地盤チームの泥炭地盤に関する研究成果をインドネシアの熱帯性泥炭地盤（トロピカルビート）に関する諸問題の解決に役立てようとするとともに、新たな研究テーマやフィールドの開拓についても期待されるものです。

両機関ではこれまでに、セミナーやワークショップの開催などにより泥炭地盤に関する研究交流を行ってきましたが、今後は本協定に基づき、より積極的に交流を行い、インドネシアの道路整備を技術的な面から支援する予定です。



写真-2 IRE との協定締結